

# シチズングループの環境経営

シチズングループは、社会的責任の一つである環境保全への姿勢を明確にするために、「シチズン環境社会ビジョン(2025)」を策定しました。

## 環境社会ビジョンと環境長期計画

持続可能な社会のために、そして、これからの地球環境のために、シチズングループはどのような活動を行うべきか——その方向を定めたのが、「シチズン環境社会ビジョン(2025)」です。

シチズングループは、「市民に愛され市民に貢献する」を企業理念に、常に人々の身近にあり、人々の役に立ち、人にやさしく、人間らしさを尊ぶ製品の提供を真摯に追求し続けています。環境保全への取り組みもまた同様に、常に人々の豊かな未来を見つめ、人々が心豊かに安心して暮らせる持続可能な市民社会を築くために成すべきことを積極的に実践していきたいと考えています。

シチズン環境社会ビジョン(2025)は、地道で確実な取り組みの積み重ねの上にこそ実現できるものだと考えています。そのため、2010年度に到達しておくべき姿を示したものが「シチズン環境長期計画2010」で、「環境経営の推進」「環境配慮型製品の推進」「工場における環境配慮の推進」「エコライフスタイルの啓発・推進」を4つの柱に、着実に実践していきます。

これらに基づき、シチズングループが生み出すすべての製品を環境配慮型製品とすること、すべての生産拠点でCO<sub>2</sub>排出量を減らし、ごみゼロを実現することをめざし、循環型社会の一員として社会的責任を果たしていきます。

### シチズン環境社会ビジョン(2025)

シチズンは  
『市民に愛され市民に貢献する』  
という理念に基づき、  
人々が心豊かに安心して暮らせる  
持続可能な市民社会に貢献します。  
シチズンは“一番近くで”  
地球と人にやさしい製品をお届けします。

2004年7月20日策定  
2007年4月 1日改訂

### シチズン環境長期計画 2010

- **環境経営の推進**
  1. グローバルな環境法規制および潮流への積極的対応
  2. ステークホルダーとのコミュニケーションおよび経営への反映
  3. 環境経営のグループ会社への展開
- **環境配慮型製品の推進**
  1. 製品の環境負荷低減
    - ① 企画・開発時での配慮
      - 製品の小型化の促進
      - 部品の共通化、素材の統一化の強化
      - 長寿命製品の開発
      - LCAの活用
    - ② 使用時での配慮
      - 省エネルギー製品開発の促進
      - 電池交換不要の製品開発の促進
    - ③ 廃棄時での配慮
      - 再資源化の推進
    - ④ 包装での配慮
      - 包装材料のリユースへの取り組み
      - 包装材料のマテリアル・リサイクルへの取り組み
      - 包装材料の減量化
  2. 製品の環境負荷情報の公表
- **工場における環境配慮の推進**
  1. 資源の有効活用
    - 資源の効率活用
    - ごみゼロの促進
    - 化学物質排出量の削減強化
  2. CO<sub>2</sub>排出量の削減
    - CO<sub>2</sub>排出量の削減(2000年度基準で-10%)
    - エネルギーシステムの高効率化
  3. グリーン調達の強化
    - 調達先、供給先と協力して製品に含まれる化学物質の管理体制の強化
  4. 環境技術の推進
    - グローバルな環境規制に対応する技術の推進
- **エコライフスタイルの啓発・推進(持続可能な社会への寄与)**
  1. 環境配慮型製品の普及・広報
  2. 人材育成
    - 社員教育体制の整備
  3. 地域社会とのコミュニケーション
    - 行政・地域社会とのコミュニケーションの推進

2004年7月20日策定  
2007年4月 1日改訂

## 2007年度環境目標・実績と2008年度環境目標

○ 達成 △ ほぼ達成 × 未達成

2007年度目標	2007年度実績	自己評価	2008年度目標	参照
<b>1. 環境配慮型製品の充実</b>			<b>1. 環境配慮型製品の充実</b>	
新規モデル環境配慮型製品率 80% (2008年度 100%)	4製品群で達成、1製品群で未達成 (88%)	△	新規モデル環境配慮型製品率 100%	P33
LCAの活用	LCA基礎技術を基に 種々製品に展開	○	スーパー環境配慮型製品の開発	
環境負荷情報の開示	水素ガスセンサーの LCAデータの開示	○	LCAの活用	
<b>2. グリーン調達の実現</b>			<b>2. 環境にやさしい事業活動</b>	
取引先評価システムの構築	システム構築には至らず	×	グリーン調達の運用の充実 (2008年度から「環境配慮型製品の 充実」の管理項目に移行)	P34
RoHS指令*遵守状況の継続確認	リスクの高い購入品を ハイリスク品と定義し、 検証手順を明確化	○	REACHに対応した製品含有 化学物質の管理システム構築準備 (2008年度から「環境配慮型製品の 充実」の管理項目に移行)	
<b>3. 環境にやさしい事業活動</b>			<b>2. 環境にやさしい事業活動</b>	
各部門1テーマ以上実施(東京・所沢)	(東京:31部門)82テーマ実施 (所沢:11部門)44テーマ実施	○	各部門1テーマ以上実施(東京・所沢)	P29, 30
<b>4. 地球温暖化ガスの削減</b>			<b>3. 地球温暖化ガスの削減</b>	
1) 省エネ活動によるCO <sub>2</sub> 削減			1) 省エネ活動によるCO <sub>2</sub> 削減	P35
(東京)CO <sub>2</sub> 排出量削減 1999年度比▲41%(14,050 t-CO <sub>2</sub> )	▲41%(13,834t-CO <sub>2</sub> )	○	(東京)CO <sub>2</sub> 排出量削減 1999年度比▲44%(13,300 t-CO <sub>2</sub> )	
(所沢)CO <sub>2</sub> 排出量削減 1999年度比▲14%(10,455 t-CO <sub>2</sub> )	▲13%(10,623t-CO <sub>2</sub> )	×	(所沢)CO <sub>2</sub> 排出量削減 1999年度比▲14%(10,533 t-CO <sub>2</sub> )	
(グループ)CO <sub>2</sub> 排出量削減 2006年度比▲1%(売上高原単位)	10%(売上高原単位)	×	(グループ)CO <sub>2</sub> 排出量削減 2007年度比▲1%(売上高原単位)	
<b>5. 廃棄物削減活動の推進</b>			<b>4. 廃棄物削減活動の推進</b>	
(東京)産業廃棄物の削減 維持管理	1999年度比▲73%(149t)	○	(東京)産業廃棄物の削減 維持管理	P36
(所沢)産業廃棄物の削減 維持管理	1999年度比▲59%(70t)	○	(所沢)産業廃棄物の削減 維持管理	
(グループ)廃棄物量削減 2006年度比▲1%(売上高原単位)	9%(売上高原単位)	×	(グループ)廃棄物量削減 2007年度比▲1%(売上高原単位)	
(グループ)再資源化率 95%	98%	○	(グループ)再資源化率 98%	
<b>6. 化学物質の削減</b>			<b>5. 化学物質の削減</b>	
(グループ)塩素系有機溶剤& 代替フロン 全廃の確認	2008年4月完了	△	(グループ)シアン化合物の 代替化の推進	P37

東京事業所:シチズンホールディングス、シチズンテクノロジーセンター、シチズンビジネスエキスパート、シチズン時計、シチズン電子、シチズンシステムズ、  
シチズン物流サービス  
所沢事業所:シチズンテクノロジーセンター、シチズンビジネスエキスパート、シチズン時計

\* RoHS指令:電子・電気機器中の特定6物質(鉛、カドミウム、水銀、六価クロム、PBB、PBDE)の使用を制限するEU指令。